

平成29年度 旭中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

人間尊重の精神を基盤に豊かな心と個性を持ち、自主性・創造性を発揮して、たくましく生きる力を培い、広く世界を見つめながら、進んで社会の発展に貢献できる民主的な人間を育成する。

【めざす生徒像】健康でやる気のある生徒（健康な体と気力） 自ら学び創造力のある生徒（自主的な学習）
心豊かで思いやりのある生徒（豊かな心）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

- ・ 心身ともに健康で学ぶ意欲のある人間を育成するため、「知・徳・体」の調和がとれた教育課程を編成するとともに、秩序があり安心・安全な教育活動の実施に努める。
- ・ 全教職員が教育に携わる者としての情熱と自覚をもち、職務への責任と協調性を有し、信頼される学校教育の推進に努める。
- ・ 学校と家庭・地域との連携・協力を深め、積極的な情報発信と相互交流を大切にし、学校マネジメントシステムに係るPDCAサイクルを生かして、地域とともにある学校づくりを展開する。

○学校経営のテーマ「誰もが行きたくなる魅力のある学校」

3 学校経営の方針（中期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 確かな学力を身に付けさせるための学習指導
 - 学力の基盤となる基本的な学習態度と学習規律を身に付けさせる指導を徹底する。
 - ・ 学習内容の基礎・基本の定着を図る指導と思考力・判断力・表現力等を育てる指導を展開する。
 - ・ 主体的な学びや学習への達成感、課題解決を重視した授業展開の工夫・改善を図る。
 - ・ 総合的な学習の時間やキャリア教育を通して、自己の生き方を見つめる学習活動を充実する。
 - 家庭における学習習慣の確立と適切な学習支援に努め、学習内容の定着を確実にする。
- (2) 豊かな人間性と社会性を育てる教育の推進
 - ・ 教職員と生徒の好ましい信頼関係を構築し、生徒のよさを認め励ます指導と共感的な人間関係を通して、一人一人の思いやりや協調性など豊かな人間性を育成する
 - ・ 自己存在感・有用感がもてる学年・学級経営を実践し、集団生活の向上に寄与する態度を育てる。
 - ・ 道徳や特別活動、部活動等の充実を図り、自律的かつ自主的・自治的に学校生活に取り組む態度を育成する。
 - 正しい判断力と意欲を育てる指導に努め、基本的生活習慣の確立や規範意識の向上、対人関係能力の育成を図る。
 - 学校と家庭・地域との適切な連携・協力のもと、豊かな心や感性を培う体験的な活動を展開する。
- (3) 健やかな心身を育む教育の充実
 - 健康的な生活習慣を確立し、自ら進んで健康の増進に取り組む態度を育成する。
 - ・ 心身ともにたくましく、気力があり、何事にも粘り強く取り組む態度を育成する。
 - 栄養バランスのよい食生活により活力ある生活を送るため、家庭との連携を図った食育の充実を図る。
- (4) 新たな教育課題等への対応
 - ・ 特別支援教育への理解と共通実践を推進し、インクルーシブ教育への適切な対応を行う。
 - 小中学校教職員の相互理解と連携・協力を深め、小中一貫教育・地域学校園の取組の充実を図り、旭地域学校園教育ビジョン「地域に愛される旭っ子」の具現化を目指す。
 - ・ 校内美化・緑化やよりよい掲示環境、ICT機器の活用、学校図書館の充実などを通して心豊かで主体的な態度を育む教育環境の充実に努める。
 - ・ 新学習指導要領を見据え、各教科・道徳の時間等の授業研究を深め、指導力の向上に努める。

[旭地域学校園教育ビジョン]

「地域に愛される旭っ子」

地域社会の一員としての役割や責任を自覚し、家族や友人、地域の人々への感謝の気持ちを持ち、思いやりをもって接するとともに、元気にあいさつし、ルールやマナーを守るなどの社会性を身に付け、進んで身の回りの人々や地域のために奉仕的に行動できる子ども

4 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

<p>【 学 校 運 営 】</p> <p>学校組織の活性化と教職員の指導力向上，地域との連携推進による学校教育の充実</p> <p>【 学 習 指 導 】</p> <p>自らの力で生きぬく生徒の育成をめざす学習指導を工夫</p> <p>－基礎・基本の定着と学習習慣の確立－</p> <p>【 児 童 生 徒 指 導 】</p> <p>一人ひとりの生徒に寄り添い，基本的生活習慣の定着と人として大切な心を育てる</p> <p>【健康（体力・保健・食・安全）】（元気アップ教育に係わる取り組みを含む）</p> <p>自己の健康・体力向上をめざし，主体的によりよい生活習慣の確立と運動に取り組む生徒の育成</p>
--

5 自己評価（評価項目のAは市共通，Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には，A拡充 B継続 C縮小・廃止，を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評 価
学校運営の状況	A 1 学校は，活気があり，明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】肯定的評価 80%	・行事等での生徒の活躍の場を積極的に取り入れる。 ・生徒の実態に即した指導計画を立て実践する。	B	<p>【達成状況】</p> <p>全評価者ともに，肯定的な評価の割合が高く，数値指標を達成できた。また，市の平均と比較しても，教職員・保護者・地域住民において肯定的な評価が上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>(1) 生徒会・教職員・保護者・地域の方が参加して行うあいさつ運動を継続して行う。 (2) 学校行事では，生徒が主体的に参加できるように，計画的に準備を進めていく。</p>
	A 2 教職員は，組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】肯定的評価 80%	・全職員が共通理解の下，問題に対して，組織的かつ誠実に対応するよう心がける。 ・個々の生徒の個性を見極め，それにあった指導や支援を行う。	B	<p>【達成状況】</p> <p>全評価者ともに，数値指標を達成するとともに，昨年度と比較しても保護者・生徒の肯定的回答のポイントが上昇した。また，教職員・保護者・生徒の肯定的割合は市の平均を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・今年度同様に，生徒理解の場を設定し，教職員・生徒間の良好な関係を維持するとともに，研修等で教職員の資質の向上を図る。</p>
	A 3 生徒は，授業と生活のきまりやマナーを守り，秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】肯定的評価 80%	○チャイム席の徹底を図るとともに，教育活動全般を通してきまりを守る姿勢を育てる。 ・交通安全教室等で命の重さ，ルールを守ることの重要さを認識させる。	B	<p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答が全ての評価者で数値目標を上回った。また，教職員・保護者の肯定的評価は昨年度と市の平均の数値を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・今年度の指導を継続していくとともに，生徒自ら進んで考え判断し行動できる資質を身に付ける場と機会を設定する。</p>
	A 4 教職員は，分かる授業や生徒にきめ細やかな指導を行い，学力向上を図っている。 【数値指標】肯定的評価 80%	・指導の基本を大切にし，学習規律の指導を充実させ，生徒一人一人の学力向上を図る。 ・家庭学習や自主学習の仕方の指導を通じて，学習習慣の確立と基礎学力の定着を図る。	A	<p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答が80%を超え，数値指標を達成した。生徒の肯定的回答は昨年度の数値と市の平均を上回ったが，地域住民においては昨年度よりも下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・主体的・対話的な深い学びの実現のために，教職員が互いの授業を参観し合い，授業研究等を行うことによって，授業力の向上を図る。また，その取り組みを地域にも発信していく。</p>

	<p>A5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】肯定的評価 80%</p>	<p>・道徳など心の教育を重視し、いじめの未然防止の取組の充実を図る。 ・いじめの早期発見・早期対応を行うとともに、いじめを許さない学級・学年集団を作る。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 保護者の肯定的回答は数値目標を下回ったが、全体では数値指標は達成された。また、教職員・地域住民・生徒において市の平均を上回った。 【次年度の方針】 具体的な学校の取組や基本方針を保護者に向けて発信する。</p>
	<p>A6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている 【数値指標】肯定的評価 80%</p>	<p>・生徒がいきいきと生活できるように、各行事のバランスを図る。 ・授業時間を確保するため授業交換などを積極的に行い、自習を減らす。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 教職員・保護者・地域住民の肯定的回答がすべて90%を超え、全体的にも数値指標を達成した。市の平均と比較しても保護者・地域住民において肯定的な評価が上回った。 【次年度の方針】 ・教育課程については、大部分は今年度のものを継続して行うが、さらに生徒が活動しやすいように改善していく。</p>
	<p>A7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われている。 【数値指標】肯定的評価 80%</p>	<p>○各種便り、学校ホームページ、メール配信システムなどを活用し、学校や生徒の活動に関する情報を積極的に発信する。</p>	<p>A</p> <p>【達成状況】 全ての評価者において肯定的回答が高く、数値指標は大きく達成されている。 【次年度の方針】 ・年間を通し、ホームページの更新をより迅速かつタイムリーに行い、最新の情報を発信できるように努める。</p>
	<p>A8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った学校づくりが推進されている。 【数値指標】肯定的評価 80%</p>	<p>○地域協議会において学校園内3地区の地区懇談会を実施し、積極的な意見交換を行う。 ○地域の方々の経験を生かし、豊かな教育活動と地域ボランティアを展開する。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 生徒の肯定的回答が、昨年度と市の平均の数値を上回った。他の数値も肯定的割合が90%を超え、数値目標を大きく上回っている。 【次年度の方針】 ・次年度も今年度同様の取組を継続させるとともに、保護者・地域の方の学校での活動を教育現場に反映させていく。</p>
	<p>A9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】肯定的評価 80%</p>	<p>・教室や廊下の掲示物を計画的に整備するとともに、多くの生徒の作品を掲示するようにする。 ○学習にふさわしい環境や潤いのある環境づくりを心がける。特に、清掃活動の充実と、緑化活動に力を入れる。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 教職員・保護者・地域住民の肯定的回答が、昨年度の数値と市の平均を上回った。生徒の肯定的評価は86.9%で、<u>1.6ポイント</u>市の平均を下回った。 【次年度の方針】 (1)学習にふさわしい環境の整備を進める。 (2)次年度も、生徒会活動の活性化等による生徒自ら環境を整備しようとする態度の育成をさらに推し進める。</p>
	<p>A10 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】肯定的評価 80%</p>	<p>○定期的に小中乗り入れ授業や会議を行う。 ○小中学生の交流活動に積極的に取り組む。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 全評価者における肯定的回答が市の平均を上回った。 【次年度の方針】 今後も、全校体制で小中乗り入れ授業や会議、そして小中学生の交流活動に積極的に取り組む。</p>
教育活動の状況	<p>A11 生徒は、進んであいさつをしている。 【数値指標】 肯定的評価 85%</p>	<p>○生徒会、教職員、保護者、地域の方々が協力して、朝のあいさつ運動を実施し、あいさつのある教育環境づくりを推し進める。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 教職員を除く評価者の肯定的回答が85%を上回ったが、教職員においては昨年度から<u>15.3ポイント</u>下回った。 【次年度の方針】 ・生徒のあいさつのレベルアップを実現するために、今年度の取組を継続させていく。また生徒指導部を中心に生徒会活動と連携して、生徒が進んであいさつし易い環境作りを推進する。</p>

健康・体力	<p>A12 生徒は、正しい言葉づかいをしている。</p> <p>【数値指標】 肯定的評価 80%</p>	<p>○あらゆる教育活動を通して言語活動の充実を図るとともに、TPOに合った言葉遣いを指導する。</p>	<p>【達成状況】 全ての評価者の肯定的回答が、昨年度の数値と市の平均を上回った。特に教職員の肯定的回答は <u>11.6 ポイント</u> 昨年度を大きく上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・教職員自らが正しい言葉づかいを心がけ、生徒に対して適宜TPOに合った言葉づかいを指導していく。</p>
	<p>B1 気力があり、たくましい生徒を育てる。</p> <p>【数値指標】 肯定的評価 80%</p>	<p>道徳教育、特別活動（学級活動、生徒会活動、学校行事）や部活動を通し、夢や目標を持ち、困難に負けない、強い心を育成する。</p>	<p>【達成状況】 全ての評価者の肯定的回答が、数値目標を大きく上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・数値に満足することなく、道徳教育、特別活動（学級活動、生徒会活動、学校行事）や部活動を通し、夢や目標を持ち、困難に負けない強い心が育つよう、今年度の指導を継続する。</p>
	<p>A13 生徒は、進んで運動する習慣を身に付けている。</p> <p>【数値指標】 肯定的評価 80%</p>	<p>元気っ子健康体力チェックの結果をよく理解させ、自己の体力を増強させるため、積極的に昼休みに運動したり、部活動や体育的行事に参加したりするように指導する。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的評価は昨年度を上回ったが、市の平均を下回った。</p> <p>【次年度の方針】 (1) 保健体育の授業で、正しい運動の技能を身に付けさせるとともに、運動の楽しさや喜びを味わわせる。 (2) 学校行事や部活動等で積極的に運動にかかわらせることで、生涯にわたり継続してスポーツに親しむ素地づくりに努める。</p>
	<p>A14 生徒は、栄養のバランスを考えて食事をしている。</p> <p>【数値指標】 肯定的評価 80%</p>	<p>・給食日より、保健だよりの発行を通じて、食育や健康に関心をもたせ、さらには栄養摂取や健康保持の大切さを理解させる。 ・「お弁当の日」の指導を通じて、食に対する意識の向上を図る。</p>	<p>【達成状況】 教職員・生徒の肯定的評価は 60%台に留まった。</p> <p>【次年度の方針】 (1) 保健・学級活動で食の大切さを自覚させるとともに、「食育だより」「給食一口メモ」等により、保護者への協力を依頼する。 (2) 栄養教諭が専門的な立場から集団または個別の指導を行い、健康のための食生活を身に付けさせる。</p>
	<p>A15 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 肯定的評価 80%</p>	<p>・確かな学力を身に付けさせるために、基礎・基本の定着を図る方策を各教科で工夫するとともに、家庭学習のやり方を工夫させる。</p>	<p>【達成状況】 すべての評価者の肯定的評価が 80%を超え、生徒の肯定的評価は昨年度よりわずかに上回った。</p> <p>【次年度の方針】 (1)基礎・基本の定着を図る方策を各教科で検討し実施する。 (2)「学習の手引き」を工夫し、家庭学習への意欲を高める。</p>
学習			

	<p>A16 生徒は、落ち着いて学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 肯定的評価 80%</p>	<p>○「学習の約束」を身に付けさせるとともに、言語活動を取り入れ、自分の意見をしっかりと発表できる態度を身に付けさせる。</p> <p>※チャイム席・・・チャイムで着席ではなく、チャイムとともに授業が始まる本校独自のスローガン</p>	<p>【達成状況】 教職員、保護者、地域の方の肯定的評価が、85%を超えた。一方で、生徒は肯定的評価を71.3%としており、昨年度に引き続き改善の余地が十分であることを示した数字となった。</p> <p>【次年度の方針】 (1)チャイム席など「学習の約束」を身に付けさせ、学習規律の徹底を図る。 (2)自分の意見を発表し、友達の発言をしっかりと聞く態度を身に付けさせる。</p>
本校の特色・課題等	<p>B2 生徒は、体育祭・文化祭・地域ボランティア活動に積極的に参加し、協力し合って活動している。</p> <p>【数値指標】 肯定的評価 90%</p>	<p>・学校行事や地域行事への生徒の積極的な参加を促し、旭中生のよさを地域にアピールするとともに、生徒たちにも活動の振り返りをさせる。</p>	<p>【達成状況】 全評価者における肯定的回答が、数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・学校行事や地域行事への生徒の積極的な参加を促し、旭中生のよさを地域にアピールするとともに、生徒たちにも活動の振り返りをさせることで、それらをさらに活性化させていく。</p>

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- (1) 全ての評価者が全般的に肯定的な評価をしており、今年度の本校の取組は妥当であったと評価できる。特に、教職員が協力し生徒を認めながら熱心に教えていることについては、保護者・生徒ともに肯定的評価の割合が本校前年度と市の平均を上回った。さらに、今年度の課題の一つであった生徒の言葉づかいについては、教職員の肯定的評価が昨年より15.3ポイント、市の平均よりも2.4ポイント上昇し、全ての評価者で市の平均を上回った。
- (2) 教職員と生徒、保護者による評価で肯定的な回答の割合が低いものは、「生徒が好き嫌いなく給食を食べている」である。給食指導で食の大切さを自覚させるとともに、「食育だより」「給食一口メモ」等により、保護者への協力を依頼する。
- (3) 生徒による評価で肯定的な評価の割合が低いものは、「積極的な運動」と「落ち着いて学習している」である。運動については、生徒に昼休みの校庭の有効活用を、生徒会活動を推進して呼びかけていきたい。学習については、本校独自の「チャイム席」などを通し、学習規律の徹底を図る。また、自分の意見を発表し、友達の発言をしっかりと聞く態度を身に付けさせることを指導していきたい。
- (4) 保護者による評価では、いじめ対応や教科指導についての評価が、他の評価者と比較して肯定的回答の割合が昨年同様低い。学校への期待の表れであると捉えて一層の充実を図りたい。
- (5) 地域の方からの評価は全般的にたいへん肯定的なものであったが、「教職員の分かりやすい授業やきめ細かな指導」については、今後、より理解を得るために努力する必要がある。また、地域とともにある学校づくりの実現のために、今後も地域との連携を推進していきたい。
- (6) ○小中一貫教育・地域学校園については、教職員・保護者・地域住民には取組の理解が進んでいるが、生徒の肯定的回答は78%であり、生徒の実感を伴うものにしていく必要がある。今後も、小学校との一層の連携強化を図りながら、9か年を見通した指導計画を作成し「地域に愛される旭っ子」の育成に努めたい。
- (7) 新学習指導要領で重要視されている「主体的・対話的な深い学び」を授業において実現できるよう、教職員一人一人が授業力の向上を目指す必要がある。生徒の積極的な発表や、発表をもとに活発に話し合う活動等を実現するために、校内研修などの充実を図りたい。

6 学校関係者評価

- (1) 好き嫌いなく給食を食べていることについて、教職員と生徒の肯定的評価が同様に低い。メニューによっては仕方ない面もあるかと思うが、少しでも改善するよう、給食指導や給食だより等で生徒への呼びかけを続けていって欲しい。
- (2) 小学生と中学生の連携した取組については、それを生徒が自ら行っているわけではないので、生徒の肯定的割合が低いのは仕方がないのではないかとはいえ、今後も情報発信を継続することで、生徒への意識を高めていくことを望む。
- (3) 今後、公立小中学校が一貫校となる方向性は今のところ無いようだが、9年間を見通してより連携強化を図って欲しい。

(4) 教職員が学校行事に対して行う評価を生かしながら、教育活動をよりよいものにしていくことを希望する。また、教職員評価を有効に活用することが大事である。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- (1) ○「地域に愛される旭っ子」の育成については、今年度まで行ってきた取組を継続して実施するとともに、元気なあいさつをより一層浸透させるために家庭、地域や学区内小学校との連携をより一層図っていく。
- (2) 分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導については、教職員の授業力の向上を目指し、お互いの授業を見せ合い、指導法を研究する研修会を開くことで学力向上に繋げていきたい。さらに、本校独自に行っている学力向上ノート等を活用し、学習習慣の定着に努めていきたい。
- (3) ○小中一貫教育を推進するために、小中の各部会の連携を深め、小中間での指導法の研究や教科の関連を検討していくとともに、その取組の内容について生徒への意識付けを行っていきたい。
- (4) 31年度に教科化される道徳の時間を中心に、全教育活動の中で実施される道徳教育を意図的・計画的・横断的に行うことで、社会性を身に付け、地域社会に貢献できる人間の育成を目指す。
- (5) 健やかな体を育成するために、保健体育の授業を中心に教育課程内及び部活動を通して計画的・継続的に行う。また、給食指導や特別活動等で、食の大切さを考えさせる食育や安全確保のための避難訓練を通して、健康・安全についての知識や技能を身に付けさせたい。